大一美術館第1回現代ガラス大賞展2008

当美術館は、社主であった市原茂がメセナ活動の一環として１９９７年に特色ある美術館として設立いたしました。蒐集内容は、１９世紀末フランスで活躍した天才アーティスト、エミール・ガレの万国博覧会出品作を含む、アールヌーヴォーのガラスと、現代ガラスの第一人者でアメリカの人間国宝第１号に認定された、デイル・チフーリのパワフルな作品を展示しております。

この度、市原久子（株式会社大一商会役員）の提案により、ガラスの芸術に新しい世界を求めて、日夜創作に励んでおられる若きアーティストに少しでも協力をしてその可能性を探る目的により、「大一美術館第１回現代ガラス大賞展２００８」を企画いたしました。多くの皆様のご出品をお待ちしています。

募　集　要　項

◆応募資格

日本に在住する者。平成20年(2008年)1月1日現在で、年齢が満50歳までの方。(国籍は問いません。)

◆応募規格

1. ガラスを立体とした造形作品。
   (ただし、ステンドグラスの平面構成作品は除きます。)
2. 2006年以降に制作された未発表完成作品で、個人作品に限ります。
3. 応募作品は１人3点以内(組み作品含む)　**＊出品料　無料**
4. 作品のサイズは、1点もしくは1組(台含む)、高さ50cm×幅50cm×奥行50cm以内、総重量30kg以内

◆応募方法

次のいずれかの方法で送付してください。

1. カラースライドの場合
   ◎必要事項を記入した応募用紙と、作品1点につきカラースライド3枚(アングルの異なるもの2枚とディテール1枚)、図録用の顔写真1枚(縦3cm×横2.5cm)を送付してください。
   ◎カラースライドは全て35mm、マウント付。なおスライドの表に、氏名、作品名、作品の上下を必ず明記してください。
2. 画像データの場合
   ◎必要事項を記入した応募用紙と、作品1点につき画像データ3枚(アングルの異なるもの2枚とディテール1枚)を収めたCD-R、出力データ、図録用の顔写真1枚(縦3cm×2.5cm)を送付してください。
   ◎画像データは、600万画素数以上のデジカメの最高画質モードで撮影した、jpegまたはtiff形式。
   ◎CD-R本体には、氏名、収録されている作品名を必ず明記してください。また、出力データの裏面にも氏名、作品名、作品の上下を必ず明記してください。
   ◎画像データのファイル名は、次のルールに従ってください。
   1)姓_名_作品名_画像番号_ファイル形式の順とします。
   各項目の間にはアンダーバー（_）を入れてください。
   2)　“”　“　＊　’　（　）　その他、特定の機種でしか読み取れない特殊文字（例：☆△■）などは、ファイル名に使用しないでください。
   3)画像データのファイル名の作品タイトルは、日本語タイトルのローマ字表記としてください。
   作品名が「ガラス」の場合
   ○garasu　　×glass
   例)氏　名：大一　太郎
   作品名：ガラス
   ファイル形式：jpegの場合
   ファイル名は、daiichi_taro_garasu_01.jpeg
   ↑　↑　↑　↑
   姓　名　作品名　番号
   となります。
3. 作品の応募にかかる経費は、応募者の負担とします。

応　募　先

〒453-0843　名古屋市中村区鴨付町1-22　大一美術館内
「大一美術館現代ガラス大賞展 2008」メセナ推進事務局まで
※提出された書類、スライド、CD-Rは返却しませんので
あらかじめご了承ください。

応募締め切り／2008年7月31日(木) (当日消印有効)

◆選考について

1. 第1次審査(画像)／平成20年(2008年)8月上旬
   ◎応募作品を対象に、画像による第1次審査をおこないます。入選作品は、「大一美術館第1回現代ガラス大賞展 2008」の展示作品となります。
   ◎審査結果は審査日から1週間以内に、本人に郵送にて通知します。入選作品は、8月末迄に当美術館に送ってください。
2. 第2次審査(実作品・賞審査)／平成20年(2008年)9月上旬
   ◎画像審査を通過した作品を対象に、実作品による第2次審査をおこない、入賞作品を選考します。
   ◎審査結果は審査日から2週間以内に、本人に郵送にて通知します。
   ◎展覧会開会式当日に表彰式をおこないます。
   ※送付された作品がスライドまたは画像データと異なる場合は失格とし、審査および展示の対象としません。
   ※1次審査、2次審査ともに、審査はすべて主催者の委嘱する審査員が非公開にておこない、その結果についての異義申し立て、説明には一切応じられません。

◆審査員

審査委員長　**竹澤雄三** (前広島市現代美術館副館長、日本ガラス工芸学会会員、美術評論家)
審　査　員　**小林　貢** (ガラス造形家、日本ガラス工芸協会監事)
鯉江良二 (陶芸家、IAC(International Academy of Ceramics)会員)
山村國晶 (金城学院大学教授、日本美術家連盟会員)
市原久子 (株式会社大一商会役員)

◆賞金について

大　賞　100万円<1点>
優秀賞　50万円<2点>　奨励賞　10万円<3点>
山木美術賞　10万円<1点>　(株)ベル･デ･ベル賞　10万円<1点>
桜画廊賞　10万円<1点>
※受賞作品は買上げ賞として主催者ならびに協賛者に帰属することとします。

◆版権等

応募作品に関する著作権・意匠権等は原則として、応募者に帰属するものとしますが、主催者側の刊行物・出版物・著作物などへの掲載および入選作品の展示などに関する権利は主催者側にあるものとします。

◆個人情報について

応募用紙等にご記入頂いた情報は、主催者側から応募者への各種連絡、案内、情報提供のために使用させていただきます。入選者については作品、住所等を図録等に紹介させていただきます。入賞者については顔写真、プロフィールも紹介させていただきます。本展のPR用に作品画像、作品名、氏名をポスター、チラシ、新聞雑誌等各種メディアに掲載させていただく場合があります。

◆作品の搬入、保管

輸送の場合、元払い運送保険付で発送してください。

送　付　先

〒453-0843　名古屋市中村区鴨付町1-22　大一美術館内
「大一美術館現代ガラス大賞展 2008」係
TEL052-413-6777　FAX052-413-3838
期日：平成20年8月末日必着のこと

作品の輸送中の損害等については主催者は責任を負いません。損害の程度が著しく、審査不能の場合は受理しないことがあります。
作品の受付以後、返却までの期間中は、主催者において保険を付与し、開梱、展示等の作品の取扱いについては、主催者により最善の注意を払いますが、天災地変等の不可抗力による場合、主催者での責任は負いかねます。

◆作品の返却

作品の返却は主催者の指定する専門業者がおこない、それにかかる輸送経費、保険料は応募者の負担とします。
また、主催者が負担する保険加入金額は30万円(上限)とします。

◆問い合わせ先

大一美術館内「大一美術館第1回現代ガラス大賞展 2008」係
〒453-0843　名古屋市中村区鴨付町1-22
TEL：052-413-6777　FAX：052-413-3838
開館時間：午前10時～午後5時　月曜日休館(祝日の場合は翌日)
URL：http://www.daiichi-museum.co.jp